

<報道関係各位>

**タイにおいて安定したバイオマス燃料供給の
サプライチェーン構築に取り組む JC サービス****1月5日、タイのカセサート大学にて
当社代表取締役の中久保が講演会を開催****「日本のバイオマス発電の現況」×「タイのゴムの木産業」について講演
さらに「アカシアなどの早生樹の研究」に1500万円の寄付を行いました**

株式会社 JC サービス(本社:大阪市西区新町、社長:中久保 正己)の代表取締役である中久保 正己は、2018年1月5日に、1943年に設立されたタイの中でも3番目に歴史のある国立カセサート大学(本拠地:Ngam Wong Wan Rd, Lat Yao, Chatuchak, Bangkok)にて、日本のバイオマス発電事業の現況と、タイのゴムの木産業の将来性をテーマに講演会を開きました。

講演会の中では、併せて記念式典も行われ、「アカシアなどの早生樹の研究」のために1500万円を、さらに現地会社と共同で1500万円を「学力向上」のために寄付いたしました。

JC サービスは現在、タイで廃棄されていたゴムの木の端材を、現地の工場で高品質なペレットに加工し、日本の発電所での燃料として再利用する事業を展開しております。また、2017年9月にはタイ工業省工業振興局(DIP)と基本合意書を締結し、タイでのペレット事業とバイオマス発電事業の発展を進めております。

弊社では、今後も再生可能エネルギー事業を通じ様々な角度から社会に貢献してまいります。



記念式典の様子



中久保による講演の様子

—本件に関する問い合わせ先—

株式会社 JC サービス 管理本部 チーフマネージャー 千葉 修平 TEL:03-3585-1118

—本リリース及び画像に関する問い合わせ先—

JC サービス広報事務局(共同ピーアール内) 担当:林、杉浦 TEL03-3571-5228